

# 当院においてびまん性神経線維腫の減量術を受けられた方およびそ のご家族の方へ

— 「びまん性神経線維腫の腫瘍減量術において術前の選択的動脈塞栓術の有用性についての検討」 へ  
ご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学病院

研究責任者 岡山大学病院 皮膚科 杉原 悟

## 1) 研究の背景および目的

神経線維腫症1型の患者さんでは、約25%の患者さんでびまん性神経線維腫という巨大な腫瘍ができるとされています。身体の動きを阻害したり、見た目に関係を及ぼしたりするため切除することがありますが、びまん性神経線維腫の組織はひじょうに出血しやすく、手術中の多量出血が問題となります。出血を減らすために腫瘍切除前に腫瘍の主な血管を詰める手法が用いられています。この研究の目的は血管塞栓術の有用性を検討することです。

## 2) 研究対象者

2007年12月6日から2021年12月16日までに選択的動脈塞栓術後に腫瘍減量術を行ったびまん性神経線維腫を合併した神経線維腫症1型の全患者さんを研究対象とします。

## 3) 研究期間

倫理委員会承認後～2023年3月末日

## 4) 研究方法

当院において選択的動脈塞栓術後に腫瘍減量術を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに手術中のデータを選び、出血量に関する分析を行い、塞栓術の有用性について調べます。

## 5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- 1) 患者基本情報：年齢、性別、診断名、腫瘍部位
- 2) 塞栓部位
- 3) 手術時間
- 4) 出血量

- 5) 摘出腫瘍重量
- 6) 術後経過（創縁虚血、壊死の有無、再手術の有無）
- 7) 血液検査結果（白血球数、赤血球数、血色素量、炎症反応）

#### 8) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院皮膚科内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

#### 9) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方（ご家族の方等も拒否を申し出ることが出来る場合があります。詳細については下記の連絡先にお問い合わせください。）にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

#### <問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 皮膚科

氏名：杉原 悟

電話：086-235-7282（平日：9時00分～16時00分）